

平成28年度 予算 原案可決



平成28年度予算特別委員会が2月25日・3月14日・15日に開催され、一般会計、5特別会計、2公営企業会計について慎重に審議を行い、3月18日の本会議において、多数の賛成をもって原案のとおり可決されました。

		増減額	
一般会計	231億 626万円	17億 7,467万円	減額
5特別会計	150億3,052万円	3億 1,870万円	増額
国民健康保険事業・後期高齢者医療・介護保険事業・住宅新築資金等貸付事業・筑紫地区介護認定審査会事業			
2企業会計	49億5,083万円	1,073万円	増額
水道事業・下水道事業			

こんな審議がありました

- Q** 庁舎維持管理費の光熱水費について
- A** 電力の自由化にともない、庁舎と上下水道事業センターを新電力に切り替える予定です。学校等、他の公共施設についても、切り替えに向けて調査・研究をすすめます。
- Q** コミュニティバス運行補助金について
- A** まほろば号に1億5,219万円、マミーズまほろば号に50万円、湯の谷地域線に372万円、連歌屋地域線に360万円、合計1億6,000万円を計上しています。
- Q** 保育士の処遇改善について
- A** 処遇改善のための市単独補助金等については、今のところ計上していません。
- Q** 緑地公有化事業費について
- A** ダム上流の水源涵養機能を保全する目的で、緑地保護地区に指定した、森林の公有地化を随時進めております。本年度は、用地買収費として5,000万円を計上しています。
- Q** 佐野東地区まちづくり事業費の調査委託料について
- A** 土地区画整理事業が実施される場合に想定される、事業費や減歩率等の基礎的な調査を行います。民間主導のまちづくりであり、市が行う前準備の調査としては、概ね最後の調査になるものと考えます。
- Q** 史跡地公有化事業について
- A** 今年度は、史跡地購入費として5億5,020万円、建物移転補償費として1億円を計上しています。なお、新年度から、史跡ごとの保存活用計画を策定しながら、計画的に事業をすすめてまいります。
- Q** 水城跡整備事業費について
- A** 水城跡保存修理工事費として1億439万円を計上しています。今後の事業展開については、基本設計に基づき、平成38年度を目標に、短期・中期の計画を定めています。